

海炭市叙景 (2010)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 152分

初公開日 2010/12/18

公開情報 スローラーナー

【キャッチコピー】

わたしたちは、あの場所に戻るのだ。

【解説】

北海道函館市出身で90年に自ら命を絶った小説家、佐藤泰志の未完の連作短編集を、函館市民が中心となって映画化したヒューマン・ドラマ。原作から5編をセレクトし、函館市をモデルにした“海炭市”を舞台に、そこに生きる市井の人々の人生模様をオムニバスタッチで綴ってゆく。監督は自身も北海道出身、「ノン子36歳（家事手伝い）」の熊切和嘉。

冬の海炭市。造船所が縮小され、大規模なリストラが断行される。妹とつましく暮らしていた颯太も職を失い、兄妹は不安の中で年越しを迎えようとしていた…。再開発地域にただ一軒残る古い家。市役所のまことは、一人で暮らす70歳のトキばあさんに立退きの説得を試みるが…。プラネタリウムで働く49歳の隆三。水商売の仕事をはじめた妻との溝は深まるばかりで…。ガス屋を継いだ晴夫は仕事が行き詰まり苛立ちを募らせる。一方、再婚の妻は、晴夫の不倫を知り、晴夫の連れ子を虐待してしまう…。路面電車の運転手を務める達一郎はある日、東京で働いている息子・博の姿を見かける。博は仕事で地元に戻って来ていたのだが、決して父親とは会おうとせず…。

【クレジット】

監督	熊切和嘉
製作	菅原和博 前田紘孝 張江肇
企画	菅原和博
プロデューサー	越川道夫 星野秀樹
原作	佐藤泰志
脚本	宇治田隆史
撮影	近藤龍人
美術	山本直輝
編集	堀善介
音楽	ジム・オルーク Jim O'Rourke
照明	藤井勇
録音	吉田憲義
スタイリスト	小里幸子
助監督	野尻克己
出演	谷村美月 井川帆波 竹原ピストル Takehara Pistol 井川颯太

加瀬亮	Ryo Kase	目黒晴夫
三浦誠己		萩谷博
山中崇		工藤まこと
南果歩		比嘉春代
小林薫		比嘉隆三
伊藤裕子		
黒沼弘巳		
大森立嗣		
あがた森魚		
東野智美		
森谷文子		
村上淳		
西堀滋樹		
中里あき		